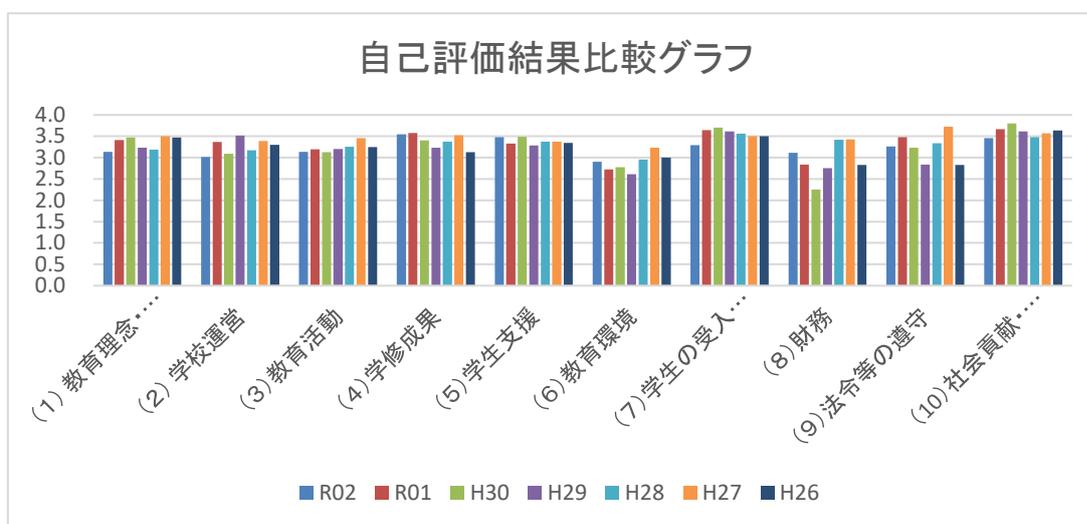


1) 領域分析

	R02	R01	H30	H29	H28	H27	H26
(1) 教育理念・目標	3.1	3.4	3.5	3.2	3.2	3.5	3.5
(2) 学校運営	3.0	3.4	3.1	3.5	3.2	3.4	3.3
(3) 教育活動	3.1	3.2	3.1	3.2	3.3	3.5	3.3
(4) 学修成果	3.6	3.6	3.4	3.2	3.4	3.5	3.1
(5) 学生支援	3.5	3.3	3.5	3.3	3.4	3.4	3.3
(6) 教育環境	2.9	2.7	2.8	2.6	3.0	3.2	3.0
(7) 学生の受入れ募集	3.3	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5
(8) 財務	3.1	2.8	2.3	2.8	3.4	3.4	2.8
(9) 法令等の遵守	3.3	3.5	3.2	2.8	3.3	3.7	2.8
(10) 社会貢献・地域貢献	3.5	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6	3.6
平均	3.2	3.3	3.2	3.2	3.3	3.5	3.2



2) 記述一覧

(1) 教育理念・目標	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に変化に合わせて、全体的に見直しが必要と考えている。 ・介護人材のなり手不足、キーボード離れ ・学科のブランド化 ・社会人の学び直し講座
	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今の地域の実態や学生の興味関心を踏まえ、教育課程や教育内容の変更をする。 ・地元高校とのリレーション強化 ・カリキュラム改編
	特記事項	
(2) 学校運営	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新事務長の働きもあり、昨年度より透明感が出て、職員の方向性があったような気がする。まだ出発点にあるところである。
	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム化による業務効率を進めてスリム化できるところに着手する。 ・職員全員で方向の将来を見据えた運営のしていく必要がある。そのためにも、前向きな考えや意見交換が必要。さらに、頑張りに対して、様々な待遇面での改善も必要である。
	特記事項	
(3) 教育活動	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、納得のできる教育活動は、できている。しかし、地域や高校生の視点に立った、魅力のある特徴のある教育活動を実施しているかという点においては、まだ不完全である。
	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の将来像を考えたとき、高校生の確保には限界がある。幸い本地域には離転職や非常勤職員、また有期雇用の職員が非常に多い。学び直しやキャリアアップを望む社会人の確保が重要な視点である。そのためにも、一つの学科の枠組みに捉われず、学科横断的な学習が可能なカリキュラムを作成し、学んでみたい学校にしていく必要がある。
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人のため能力開発(スキルアップ)のための研修に参加できない現状である。
(4) 学修成果	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時の学習能力が、卒業時まで引きずっているのが現状である。特に、基礎学力の低い生徒や障害を持った生徒の指導が非常に困難である。
	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い高校生や社会人の確保が必要であり、かつ、確保できた学生が満足いく教育を保証するような学習内容と資格取得を可能とし、それが就職に直結するように全職員で取り組んでいく必要がある。
	特記事項	
(5) 学生支援	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数というメリットを生かした支援体制ができていると思う。 ただ、障害を持っている学生の手立てという点で、本校の職員だけでは限界がある。関係機関とのさらなる連携や支援が必要である。

	今後の改善策	・経済的に恵まれていない生徒に対して、スムーズな支援体制ができるように、高校やハローワークと連携を深めていく必要がある。特に、今後コロナの影響によるものが出てくるのでそれに対応できるようにしていきたい。
	特記事項	
(6)教育環境	課題	・8市町村の財政的な支援があり、徐々に教育環境が整い始めてきている。5年計画の2年目になる。
	今後の改善策	・防災訓練の実施の検討 ・今後も、学校内外の教育環境整備に努めていきたい。文部省などの外部機関の事業を活用して、最新の技能技術に出遅れないような教育環境の構築もしていきたい。
	特記事項	
(7)学生の受入れ募集	課題	・地域の高校生の激減の影響と、山形に大原専門学校ができたことによる影響が少なからず出ている。それにもまして、地域の進学校を中心とする高校生は、都会化志向が強く、なかなか本校に目を向けてくれない。
	今後の改善策	・各教員への募集要項の周知などPRのレクチャー ・高校生に目を向けてもらうには、魅力ある教育内容と実績を積むしかない。優秀な社会人学生を確保し、優秀な人材を育成し地域に送り出し、学校の存在感と価値を示していくことが重要な視点と考えている。
	特記事項	
(8)財務	課題	・学生数の減による収入減をカバーするために、高校への職員の派遣や多くの付帯事業を実施しているが、職員に多くの負担を強いている感はある。
	今後の改善策	・現実的に、高校への職員の派遣や付帯授業でのカリコンの実施などは募集につながり好影響を得ている。今後も、本校の教育に支障がないように継続はしていきたい。
	特記事項	・本校が将来的に活性化し伸びていくためには、やはり職員の待遇面での見直しも重要な視点の一つと考えている。実績に対する対価が重要なモチベーションの向上につながる。
(9)法令等の遵守	課題	・評価内容や項目が、保護者や学生にはわかりづらいところが多い。
	今後の改善策	・次年度に向けて、職員や学生、保護者が分かりやすく共有しやすい項目に見直しを図る
	特記事項	
(10)社会貢献・地域貢献	課題	・地域貢献活動の日を設定し、毎年実施している。(今年度はコロナのため実施なし)これが本校の目玉の一つとなっている。他にもさまざまなボランティア活動に積極的に参加している。
	今後の改善策	・今後も、地域の学校として、体系的な実施計画に基づき、地域貢献活動は実施していく。

